

12. 獨協医科大学医学部（私立）

Dokkyo Medical University / Dokkyo Medical University School of Medicine

〒321-0293 栃木県下都賀郡壬生町北小林880

<http://www.dokkyomed.ac.jp>

電話0282-87-2419

FAX0282-86-5678

e-mail : kyoumu@dokkyomed.ac.jp

1. カリキュラム全般について

A. 一般教育（教養）と専門教育との関係：

- 1) 学則上は一般教育（教養）と専門教育とを区別せず、6年一貫教育である。
- 2) 一般教育（教養）の学習は1、2年生のみで行われる。
- 3) 専門教育（準備教育は除く）の学習は1年生から開始する。

B. 教授会は一般教育（教養）にはない。

C. 学生や教員や地域住民などに対し、医学部・医科大学としての一般目標や理念が印刷物や看板・ホームページなどのメディアで示されている。

D. 学生や教員が学習内容を予め知ることができるように、授業科目の学習目標（一般目標や行動目標）、授業内容、担当者などを印刷物（シラバス）ですべて示してあり、その印刷物を講義計画表という。

E. 4年生大学既卒者（学士編入生）は卒業学部により編入学年が異なる。

編入生の編入時期はすべて4月である。

F. 1年生の入学時オリエンテーションは5日間して合宿は2日間行う。

G. Early Exposure（医学教育の早い時期に医学・医療の場に接し動機づけを試みる教育）を行っている学年は1、2年生である。

その期間と内容：1年生：5日間：福祉施設等で2日間実習を行う他、院内中央部門等の見学や院内感染に関する実習を行う。

その期間と内容：2年生：5日間：各診療科（2日間）及び看護部（1日）の配属実習や実際の患者様に参加いただく臨床講義を実施している。

H. PBL/チュートリアル（小グループで行う問題解決型学習）が導入されている。コアタイムの時間は

1年生は、平均して週3時間×年間8回である。

2年生は、平均して週3時間×年間8回である。

3年生は、平均して週3時間×年間8回である。

チューターは学年により異なっていて一般教養系、基礎医学系、臨床医学系を問わない。

チューター養成のための特別な勉強会や講習会はない。

I. 細胞・組織レベル、ないしは臓器系統別の統合カリキュラムを多くの部分で採用している。

J. 平成17年以降、大幅なカリキュラム改訂は、行われていない。なお、現行カリキュラムの特色は下記のとおりである。

- ・平成14年度から「モデル・コア・カリキュラム」を取り入れたカリキュラムとなっている。
- ・平成15年度から「PBLチュートリアル」を開設し、問題解決型学習を通して、勉学意欲の向上を図っている。
- ・臓器別の臨床講義が終了した時に、基礎医学の総復習を行うための「基礎総合」を開設するなどのクサビ型教育を行っている。

K. 今後のカリキュラム改訂は今のところ予定していない。

L. 現在学内で、医学教育について検討されている事項は下記の点である。

・IT化を含めた教育環境の整備・教員の教育業績の評価方法

2. 選択制について

専門教科について選択制を採用してはいない

3. 一般教育（教養）について

- A. 医学部医学科以外の学部や学科のある大学に伺います。
一般教育（教養）の授業は他学部（他学科）の学生と一緒にではない。
- B. 他大学との単位互換について認めていない。
- C. 医学部のみの大学に伺います。
一般教育（教養）の教員の所属はほとんどが自大学の所属である。
- D. 一般教育（教養）部門では一部が選択科目で、それは一般教育（教養）の約23.4%である。
- E. 平成19年新生で、高等学校などで「生物」を履修していない学生数は16.3%であった。
「生物」を履修しなかった学生に対して補習ないしは選択で授業をしている。
- F. 平成19年新生にはセンター試験が導入されていた。
入学者のうち「生物」を選択していた学生は約42.1%であった。

4. 基礎医学教室ないしは社会医学教室（研究室）配属について

- A. 学生が一時期、基礎医学教室ないしは社会医学教室（研究室）に配属されるシステムがあり、希望者のみが
2年生の時に平均して1週6時間×1週間配属される。
3年生の時に平均して1週6時間×1週間配属される。

5. 臨床実習（外来実習、BSL、クリニカル・クラークシップを含む）について

- A. 臨床実習前に、まとまった形で医療面接・診察技法（例：臨床実習入門など）の学習を行っている。
（9日間）
身体診察の学習に医師や学生以外の標準模擬患者（SP）を導入している。
- B. 臨床実習の実施学年とその期間は（早朝や時間外は省略）
5年の時、1週30時間で、40週間である。
- C. 臨床実習科目は全科目を必修としている。
- D. 大学の附属病院以外の施設（国・公・私立病院や保健所・老健施設などでの実習、国内外を問わない）で臨床実習を行っている。
その期間は全部で1週+3日で、そこで行う実習科目は（内科学（呼吸器・アレルギー）、耳鼻咽喉科学、リハビリテーション科学、地域保健実習）である。
この大学外の実習の場合の交通費は大学側が支払う。
- E. クリニカルクラークシップは臨床実習を行うすべての科で導入している。
- F. 臨床実習のための手引書は印刷物として配布されていて、それにはスケジュール、到達目標、医行為の範囲、評価法が記載されている。
- G. 臨床実習の評価として各診療科ごとの評価基準があらかじめ学生に示されている。
臨床実習の評価結果は可否（進級）の判定（総括評価）に用いられる。
そして不合格になれば、再び全科の臨床実習を行う。
- H. 臨床実習中の学生の安全管理対策については
保険制度に加入している。
ワクチン接種を行っている。

設問6. 学生の海外における実習について

- A. 学生の海外における実習は行っていない。

7. 評価について

- A. 進級判定が行われるのは1年終了時、2年終了時、3年終了時、4年終了時、5年終了時である。
- B. 成績の記録法は点数・合否・段階などの混合による方法を採用している。
- C. 卒業判定のための試験は行われていて、それは講座ごとと総合試験の両方である。
 時期は4月から10月まで、期間は17週間（長期休暇期間を除く）である。
- D. 6年生の10月以降には、少人数教育が組まれている。
 また、大学による国家試験対策のための特別な講義が行われることはない。
- E. 卒前教育に携わっている教員に対し、教育業績の評価が行われることはない。
- F. 過去2年間に、卒前教育全体に対する第三者評価が行われたことはない。

8. 教員について（医学部・医学科および大学院学生の教育を担当する教員）

A. 教員数（平成19年12月現在）

		教 養*	基礎**	臨床***	附属研究施設	その他	合 計
常勤 (有給専任)	教 授	2	18	64	2		86
	准教授	9	21	64	2		96
	講 師	1	0	135	0		136
	助 教	2	36	398	2		438
	その他	0	0	0	0		0
	合 計	14	75	661	6	0	756

非常勤 (客員・無給を含む)	教 授	1	2	15			18
	准教授	0	0	1			1
	講 師	9	56	267			332
	助 教	0	0	0			0
	その他	0	0	0			0
	合 計	10	58	283	0	0	351

* 教養の常勤者は医学部所属者のみに限る。総合大学で医学部所属者がいない場合は空欄とする。

** 基礎は社会医学を含む。

*** 臨床は附属病院・分院を含む。

- B. 常勤の教員の任期制の制度を取り入れている。

任期制の制度の概要は下記のとおりである。（簡条書きで）

医学部基礎部門において、准教授以上の者を対象として職位の任期制を一部導入している。

- C. 教員や臨床実習時の指導医の医療事故に対する対応策については、取り決められていて、何らかの保険制度に、全員が加入している。

9. 学生数（平成19年12月現在）

学 年	総 数		うち学士編入者数	うち今年度留年者数（今年度のみ）	うち休学者数	うち外国人留学生	
	うち女子人数	うち女子人数					
1	107	36	0	3	0		
2	117	36	0	15	5		
3	95	34	0	2	1		
4	118	44	0	11	1		
5	76	35	0	0	1		
6	109	40	1	8	1		
合計	622	225	1	39	9	0	0

10. 平成19年4月（今年）の医学部受験状況（編入は含まず、1年生のみ）

受験者数2,488名、合格者数163名、倍率15.3倍

入学者数104名、（定員100名、うち推薦入学者数25名）

入学者の状況：現役38名、1浪30名、2浪20名、その他16名、

定員外に別試験で入学した外国人学生0名、

センター試験を導入している。

センター試験で理科を何科目課しているか

2単科目

12. 平成18年4月（昨年）の医学部受験状況（編入は含まず、1年生のみ）

受験者数2,643名、合格者数181名、倍率14.6倍

入学者数103名、（定員100名、うち推薦入学者数23名）

入学者の状況：現役37名、1浪34名、2浪19名、その他13名、

定員外に別試験で入学した外国人学生0名、

センター試験を導入している。

13. 平成18年（昨年）の1年生以外の編入学状況

A. 編入学者数／応募者数 として表示してください。

2学年1／91

B. 編入学者地域わくについて

地域わくは無い。

今後どのように考えていますか。

現状では、編入学者地域わくの設定は考えていない。

14. 授業時間配分

(1) 学期区分

学 年	学期制なし	学期制あり		総時間数		
		2学期制	3学期制	講義	実習	PBL/ チュートリアル
1			○	736.5	118.5	24
2			○	516	343.5	24
3			○	744	85.5	24
4			○	744	66	0
5	○			0	1230	0
6	○			330	0	0

(アーリーエクスポージャーは実習時間数に含める。)

(2) 土曜日の授業（講義または実習）は全学年ない

(3) 時間配分の概略図（授業区分のブロック図）

新カリキュラム（総合）

1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
A			B		C
	B	C	D	E	D

(註) A：教養

B：基礎医学

C：臓器別統合カリキュラム

D：臨床系統合カリキュラム

E：臨床実習

15. 医学専門教育（専門課程）の教科別授業時間数

授業科目名	講義時間数	実習時間数	合計時間数
生体物質の代謝	37.5		37.5
細胞生理学	25.5		25.5
人体の発生学	15		15
人体の組織学	21		21
解剖概論・運動器	30		30
生理学概論	21		21
情報伝達の科学	18		18
○体液の科学	25.5		25.5
○血液リンパの科学	24		24
○呼吸と循環の科学	42		42
○消化・吸収・栄養の科学	39		39
生化学・遺伝学実習		30	30
○運動・感覚・高次脳機能	31.5		31.5
解剖学実習		108	108
組織学実習		36	36
基礎神経科学	30		30
脳実習		15	15
遺伝と遺伝子	16.5		16.5
○感覚器の科学	25.5		25.5
○内分泌・代謝・生殖の科学	34.5		34.5
植物機能生理学実習		24	24
神経生理学実習		24	24
小計（A）	436.5	237	673.5
微生物学	40.5	28.5	69
病理学総論	51	18	69
薬理学	60	30	90
医動物学	19.5	21	40.5
免疫学	18	9	27
病理学各論Ⅰ	39		39
病理学各論Ⅱ	52.5		52.5
病理学各論実習		55.5	55.5
小計（B）	280.5	162	442.5
衛生学	30	15	45
公衆衛生学	30	18	48
法医学	28.5	12	40.5
地域保健実習		30	30
小計（C）	88.5	75	163.5
○消化器	54		54
○循環器	58.5		58.5
○呼吸器	45		45
○内分泌・代謝	36		36
○感染と免疫	19.5		19.5
○血液・造血器	25.5		25.5
○脳・神経	43.5		43.5
○アレルギー・膠原病	25.5		25.5
放射線医学	15		15
○小児医学	45		45
臨床検査医学	18		18
精神医学	30		30
小計（D）	415.5		415.5

授業科目名	講義時間数	実習時間数	合計時間数
一般外科	18		18
○耳鼻・咽喉・口腔	34.5		34.5
眼・視覚	19.5		19.5
皮膚	19.5		19.5
産科婦人科学	51		51
○腎・泌尿器	36		36
○運動器	30		30
小計 (E)	208.5		208.5
基礎総合Ⅰ	24		24
基礎総合Ⅱ	25.5		25.5
○基礎総合Ⅲ	28.5		28.5
○基礎総合Ⅳ	30		30
○検査医学	39		39
○治療学	31.5		31.5
○今日の医療・医学	18		18
麻酔	21		21
○救急医学	39		39
○ターミナル・ケア	7.5		7.5
○症候学	39		39
○診療の基本と診断学	33	21	54
○症例演習Ⅰ	43.5		43.5
○症例演習Ⅱ	51		51
○症例演習Ⅲ	45		45
○症例演習Ⅳ	46.5		46.5
○症例演習Ⅴ	36		36
小計 (F)	558	21	579
内科学 (心血管・肺)		60	60
内科学 (消化器)		60	60
内科学 (血液)		60	60
内科学 (循環器)		60	60
内科学 (神経)		60	60
内科学 (内分泌代謝)		60	60
内科学 (呼吸器・アレルギー)		60	60
精神神経医学		60	60
皮膚科		30	30
放射線医学		30	30
臨床検査医学		30	30
小児科学		60	60
第一外科学		60	60
第二外科学		60	60
外科学 (胸部)		30	30
脳神経外科学		30	30
整形外科		30	30
泌尿器科学		30	30
眼科学		30	30
耳鼻咽喉科学		30	30
産科婦人科学		60	60
麻酔科学		30	30
救急医学		60	60
口腔外科学		24	24
リハビリテーション科学		30	30
形成外科学		30	30
附属施設		36	36
小計 (G)		1200	1200
基礎医学・社会医学の合計 (A+B+C)	805.5	474	1279.5
臨床医学の合計 (D+E+F+G)	1182	1221	2403
専門課程合計	1987.5	1695	3682.5

各学年における講義時間数、実習時間数について

	講義時間数	実習時間数	合計時間数
1 学年	760.5	118.5	879
2 学年	540	343.5	883.5
3 学年	768	85.5	853.5
4 学年	744	66	810
5 学年	0	1230	1230
6 学年	330	0	330
合 計	3142.5	1843.5	4986

16. その他の教育内容

独立した科目として授業が行われている科目：

人類遺伝学（臨床遺伝学）（必修）、行動科学（必修）、医療福祉学（医療社会福祉学）（必修）、医学外国語（必修）、医の倫理（必修）、緩和ケア（必修）、プライマリ・ケア（必修）、文章表現講座（必修）、スポーツ科学（必修）、宗教学（選択必修）、健康科学（選択必修）、医事法制（必修）

独立した科目として授業が行われていない科目：

医史学、医用（電子）工学、医療安全、医療経済、医療情報学、高齢医学、在宅ケア・介護、家庭医学、臨床医学、人間関係学、医療保険

18. MD-PhDコースを設置していない。